

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

集中豪雨に備えよう

日本は、適度な雨に恵まれ、四季の変化に富んだ国です。しかし、1カ月かかって降る量の雨が数日で降ってしまう「集中豪雨」が発生することがあります。集中豪雨は、浸水やがけ崩れなどを発生させ、わたしたちの生活や命を脅かす可能性があります。対策をすれば被害を軽減できます。

集中豪雨から身を守るためのポイント

日ごろの心掛け

- 1 自宅周辺の排水溝などを点検して、詰まりがあったら取り除く
- 2 地下階への浸水に備える（仕切り板や土のうで浸水防止）
- 3 松前町総合防災マップで避難場所と持ち出し品を確認する

天気の変化に備える

- 1 天気予報から…雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ているとき、「大気の状態が不安定」などの表現があるときは注意する
- 2 空の状態から…「急にまっ黒な雲が近付いてきた」「雷鳴が聞こえる」「稲光が見えた」などの場合は注意する
- 3 川の状態から…「水かさが増えてきた」「濁ってきた」「流木が流れてきた」などの場合は注意する
- 4 気象情報などの入手…パソコンまたは携帯電話の各種気象サイトで気象情報などを活用する

豪雨時

- 1 外では…浸水地や水の流れを避けて歩く。やむを得ず浸水地を歩く場合は、集団で行動し、傘、棒

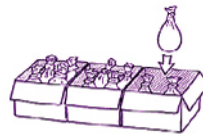
や枝などを利用して水深を確認しながら歩行する

- 2 屋内では…避難勧告や避難指示が発表されていなくても、地下階、過去に浸水被害のあった場所や河川の近くにいる場合、避難に時間がかかる場合は避難する。自宅から避難する場合はブレーカを切る

簡易水防工法の例

これらの工法は、あくまで小規模な水災で水深の浅い初期の段階で行うものです。危険を感じる前に早めに避難しましょう。

例1 ごみ袋による簡易水のう



40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして、半分の水を入れて閉め、これを段ボールに入れて連結して使用する

例2 プランターとレジャーシート



土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用する

例3 ポリタンクとレジャーシート



10リットルまたは20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用する

例4 止水板



長めの板などを使用し、出入り口の浸水を防ぐ

